



純粋未経験で大企業営業系総合職から司法界への挑戦

菅原 隼斗 2015年3月修了

就学生
メッセージ

私は理系の総合職として(株)明治で十数年勤務し、横浜国立大学の法科大学院未経験者コースに入学しましたが、それまで法律を聞いたこともない純粋未経験の状態でした。会社に在籍中に交通事故で大ケガをして車椅子での歩行障害になってしまいました。不自由な身体でなにか再転機を掴みたいとの思いで法科大学院の受験を決意しましたが、試験を受けようにも学が書けません。会社の同僚であった経営者に営業用ソフトを使用してはどうかとアドバイスをもらい、私は必死になってソフトを使いこなせるよう勉強をしました。受験に際しては他にもさまざまな壁がありましたが、横浜国立大学は色々配慮をしてくれ、無事に受験することができました。法科大学院に入学して講義が始まると初回から内容がよく理解できない状況でした。いくら予習してもそのような状態が数カ月間続き、1回で司法試験に合格するためにはどうすればいいのか悩みが募るばかりでした。右往左往しながら勉強を続けていましたが、本法科大学院には多くの合格者に学習相談や学習指導を依頼できる環境があったので、積極的に数十人の先輩方にアポイントをとり、司法試験に合格するための学習方法についてアドバイスをもらいました。そうしたところ、2年生になる頃には勉強を軌道に乗せる事ができ、成績も安定してきました。また勉強を継続するなかで努力に裏打ちされた自信のようなものが形成され、本番では落ち着いて試験に臨むことができました。その結果、1回目の受験で合格することができました。本法科大学院は必ず合格したいとの目標をもって努力を惜まない方をサポートする体制がありますので、そのような方にはお勧めだと思います。